



コロナ禍の苦境を 新たな**挑戦**で切り拓く

1年半近くに及ぶコロナ禍の影響で事業を取り巻く状況が一変する中で、“手をこまねいて見ているわけにはいかない”と、思い切った新規事業に活路を見出した2社の取り組みを追う。

大起産業株式会社

新規事業への“情熱”を募って アウトドア業界へ参入



一人の社員の熱い情熱から誕生したアウトドアブランド「PICNICAR」のテーブルを挟んで語り合う
内藤茂範社長（左）と天田淳一専務。

有限会社友栄水産

需要激減で得た“時間”を糧に 養殖業の可能性を切り拓く



年間24万尾の養殖真鯛を生産している友栄水産の三代目経営者・橋本 純さん。
コロナ禍の状況をかねてから温めていたアイデアを実現するためのチャンスと捉えた。

contents



2021年8月より総勢19名の
陣容にパワーアップ
三重県よろず支援拠点
コーディネーター紹介…P6

よろず支援拠点
注目の相談事例
株式会社ミネルヴァ…P7



来年4月1日から
パワハラ防止対策が
中小企業にも義務化…P8

